

2022年4月22日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

1級受検番号 N003F3120347

氏名 K.M (東京 在住)

■1級技能士を目指したきっかけ
現在、人材総合サービス会社に勤務しており、2017年に2級技能士を取得いたしました。その後、社内で国家資格取得を目指す方に向けて指導する立場になった為、指導者としてスキルアップの為に目指しました。又企業内でのスーパーバイザーの要望がある事も目指した要因です。
■当初の勉強法
当初は1級技能士の会の参考書を読みDVDを見て基本的な流れを理解しました。その後、社内外で1級技能士の方に指導を受け、受検者同士で勉強会を行い実技面接の練習を重ねました。
■合格のきっかけ
今回3回目の受検合格する事が出来ましたが、前回までは同じ勉強会仲間で実技面接の練習を重ねておりましたが、3回目の受検でしたので、これまでと違う仲間との勉強会に参加する事もしました。又キャリアコンの資格がないが、日々部下のキャリア相談を実施している夫に面接練習相手をしてもらったところ「指導が明確ではない」「まどろっこしい」などの意見があり。指導者としてわかりやすく指導する事の重要性を理解し、その事を意識して受検に臨みました。
■学科試験の勉強
協議会の過去問、技能士の会のキャリアの赤本など、手に入る過去問はすべて3回ずつ練習しました。試験直前は、間違えた問題を完璧にするまで繰り返し練習しました。また厚労省のHPなどにも目を通し、直前で発表された指針を理解するようにしました。
■論述試験対策
第5回からの過去問はすべて解答し、1級技能士の方に添削をお願いしました。また技能士の会の問題集も目を通すようにし、技能士の会主催の1日講座にも参加いたしました。また受検者同士の勉強会でも意見交換をしながら第8回から第10回までの模範解答を考えました。試験直前は時間を計り、時間内に書く練習をしました。
■面接試験対策
11月から1月末までは、ほぼ毎週末、勉強会仲間と週1日、4時間ロールプレイの練習を重ねました。試験直前の1月3連休は技能士の会主催の研修に参加し、面接練習の回数を1回でも多く作るよう意識して練習しました。試験直前の3日間は、夫を事例相談者役にし、試験当日直前まで面接練習をしました。
■受検される方へメッセージ
学科はひたすら知識を頭にいれる事、論述は書いて手に覚えさせる事、そして面接は、色々な知識を学んだ上で、当日はすべてをゼロリセットして、目の前のクライアントにしっかり向き合う事が重要だと思います。私自身不合格の結果を受けた際は、落ち込み、もう辞めようと思う事もありましたが、一旦試験の事を忘れ、リセットしたら、また新たな気持ちで再挑戦をしてみようと思いました。1回目より2回目、2回目より3回目と確実にスキルアップし、合格に近づくとあります。諦めずに合格を目指して頂きたいと思います。